

2024年度 社会福祉事業（第一種）

障害児入所施設事業 障害者支援施設事業 太陽の家 事業報告書

1. 利用定員 80名 (成人40名、成人30名、児童10、短期入所 3名)

2. 基本方針

(1) 基本方針

基本的な人権を擁護する視点から、一人一人を大切に、同世代の多数の人々と同様なライフスタイルで暮らしが送れるよう支援する。入所施設としての地域の役割を担うと同時に、地域生活へ移行した障がい者など、地域に住む障がい者が安心して生活を継続するためには、地域の中で様々なサポートを行っていくことが必要である。そのため、様々な既存の社会資源を組み合わせ活用するなどにより、地域生活支援の拠点を面と点での構築を図ることを目的とする。

(2) 施設の目的

義務教育終了後の障がい児・者が、自らの力と、隣人、友人との協力を基盤として社会生活能力を高める事、具体的体験を通じて社会参加を実現して行く事を目的とする。この目的のため、利用者個々人の独自性に則ったプログラムの作成に努力し、同時に、利用者各人の生活の本拠としての整備に努力する。

3. 利用状況

(1) 太陽の家 北館

ア. 施設入所支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者人数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	15	15	15

イ. 生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者人数	336	342	320	360	333	305	348	311	313	302	286	318
1日当たり利用者	16	16	16	16	15	16	15	15	15	16	16	16

ウ. 事故等の状況

事故発生件数	4件	うち行政庁への報告	3件
--------	----	-----------	----

(2) 太陽の家 南館

ア. 施設入所支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者人数	31	31	31	30	29	28	28	27	26	25	25	25

イ.生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者人数	569	593	573	630	544	513	578	513	513	477	446	502
1日当たり利用者	27	28	26	28	25	27	26	25	25	25	24	25

ウ. 事故等の状況

事故発生件数	15件	うち行政庁への報告	1件
--------	-----	-----------	----

(3) 太陽の家 児童部

特記する事業活動は無し。

(4) 北館、南館からの地域移行などの退所者数

共同生活援助（グループホーム）への地域移行 4名

介護保険制度への移行 2名

自宅 1名

その他施設 1名

逝去 1名

(5) 苦情受付件数

本年度 0件

4. 職員研修

別紙添付

令和6年度太陽の家 施設内研修報告

	実施時期		研修内容	参加人数
	月	日		
1	10月	7日	施設内研修 BCP研修訓練(感染症) 担当:高橋 忍	37名
2	10月	28日	施設内研修 BCP研修(災害時等) 担当:青木・高塚	18名
3	12月	23日	施設内研修 BCP研修(災害時等) 担当:高塚	12名
4	1月	20日	施設内研修 事例で考える虐待防止 ～施設内で起きた際の対応を考える～ 講師:弁護士 高橋 宏典	24名
5	2月	3日	施設内研修 事例で考える虐待防止 ～施設内で起きた際の対応を考える～ 講師:弁護士 高橋 宏典	24名
6	月	日	施設内研修	名
7	月	日	施設内研修	名
8	月	日	施設内研修	名
9	月	日	施設内研修	名
10	月	日	施設内研修	名

No.	実施月	研修会名	開催者・場所	参加職種	参加者数	研修日数	研修内容	研修結果の報告方法
1	4月	社会福祉法人 今人倶楽部 虐待防止研修	川之江ふれあい 交流センター	施設長 看護師 支援員等	15名	1日	社会福祉法人かながわ 共同会 講師:山下康氏 虐待防止について	資料による伝達
2	6月	強度行動障害研修	ライフサポート ここはうす	支援員	2名	2日	愛媛県行動障がい 基礎研修	資料による伝達
3	7月	強度行動障害研修	今治地場産業 センター	支援員等	2名	2日	強度行動障害の 支援についての実践	資料による伝達
4	8月	自閉症支援キックオフ セミナー	伊予市総合福祉 センター	支援員	1名	1日	自閉症の方とともに 暮らす地域とは	
5	8月	特定給食施設等 関係者研修会	紙産業センター	栄養士等	4名	1日	オーラルフレイル から始まる 口腔機能障害	資料による伝達
6	9月	四国中央保健所 感染対策研修	四国中央保健所	看護師 サビ管	2名	1日	感染対策	資料による伝達
7	12月	虐待防止研修	太陽の家	支援員等	19名	1日	～障害を有する方(児)の 人権擁護と支援者に求め られる覚悟～	資料による伝達
8	12月	虐待防止研修	太陽の家	支援員等	24名	1日	～障害を有する方(児)の 人権擁護と支援者に求め られる覚悟～	資料による伝達
9	1月	虐待防止研修	太陽の家	全職員	23名	1日	事例で考える虐待防止 ～施設内で起きた際の対 応を考える～	資料による伝達
10	2月	虐待防止研修	太陽の家	全職員	24名	1日	事例で考える虐待防止 ～施設内で起きた際の対 応を考える～	資料による伝達
11	2月	強度行動障害研修	ライフサポート ここはうす	支援員	3名	2日	強度行動障害支援研修 基礎研修	
12	2月	強度行動障害研修	ライフサポート ここはうす	支援員等	3名	1日	強度行動障害支援研修 実践研修	
13	2月	意思決定支援研修会	四国中央市 長寿支援課	支援員等	2名	1日	意思決定支援のコツや ポイント～実践編～	
14	3月	愛媛県 サービス管理責任者 更新研修	愛媛県社会福祉士会	施設長補佐	1名	2日	サービス管理責任者 更新研修	
15	3月	意思決定支援研修	基幹相談支援センタ	支援員等	6名	1日	意思決定支援を考える	

2024年度 障害福祉サービス事業 インクルーシブセンターいまじん事業報告書

1. 基本方針

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成し、これに基づき利用者に対して障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施する。また、その他の措置を講ずることにより利用者に対して適切かつ効果的に障害福祉サービスを提供する。

2. 基本事業

【生活介護】

○事業内容

介護を要する利用者に対し、排泄・食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供。

○定員10名(現員 21 名、平均利用者数 8.3 名)

○利用状況一覧

	開所日数	利用人数	延べ人数
4月	22	19	176.5
5月	23	19	176
6月	20	18	156.5
7月	23	19	186.25
8月	18	20	154.75
9月	21	20	175.5
10月	23	19	191.75
11月	21	18	177.75
12月	20	19	180.5
1月	20	20	164.5
2月	20	18	163
3月	21	20	189.5
合計	252	229	2092.5

○新規利用者は1名。2か月入院した方が1名。

○室内では、個別課題(マッチング、分類など)や創作活動、喫茶、おやつ作り、カラオケ、DVD鑑賞等を行っている。内職にも参加できる人や取り組める時間も増えてきている。

○屋外では、軽運動、ドライブ・散歩、定期的に外食にも行けた。

○年間では、花見やカラオケ・動物園外出や、ともるる内で夏祭りや運動会も実施した。生活介護事業所連絡会での交流イベントに参加したり、施設のもちつきやアートイベントにも参加した。

【就労継続支援 B 型】

○事業内容

通常に事業所で雇用されることが困難と思われる利用者に対し、生産活動その他の活動の機会、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援を行うことで、その方の社会参加及び経済活動への参加の促進を図る。

○定員10名(現員 16 名、平均利用者数 9 名)

	開所日数	利用人数	延べ人数
4月	22	12	172
5月	24	12	183
6月	20	13	182
7月	23	15	215
8月	18	15	171
9月	22	15	206
10月	24	15	219
11月	25	15	213
12月	20	15	197
1月	20	14	190
2月	21	16	196
3月	23	15	212
合計	262	172	2356

○新規利用は 3 名。家庭の事情で長期休みだった方が利用再開。

○5月の移転後、店舗に来られる方も増え、イベント販売やクッキー贈答用の注文が多くあり売上もあがっている。

移転直後にご利用者の方も慣れない場所で不便を感じていたと思われるが、工夫や相談を一緒にしながら改善し、少しずつ慣れてきた。

空間が限られてるため、関係性のよくない人同士の距離など工夫が必要だった。

○施設外作業も継続して実施できたが、夏場は室内でも暑かったため、定期的なアクエリアス補給や休憩の取り方を職員間でも話し合っって実施したり、あまりにも暑い日は中止の判断も行った。

○一人当たり月平均工賃は11,696円となった。

相談支援事業所 りんく 事業報告書
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援)

1. 事業の概要

- 事業の種類 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・基幹相談支援センター

- 事業の名称 相談支援事業所 りんく

- 事業開始日 令和6年4月1日

- 基本方針 事業の運営は、常に権利擁護の視点を持ち、利用者の心身の状況やその置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき適切な保健・医療サービス及び福祉サービスが多様な事業所から総合的かつ効果的に提供されるよう配慮して行う。事業の提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って利用者に提供されるサービス等が特定の種類または特定の事業所に不当に偏らないように公正中立に行う。

- 事業の内容 ・四国中央市基幹相談支援センターの運営（詳細実績は別紙）。
 ・基本相談支援：福祉制度やサービス等様々な困りごとの相談を受ける。
 ・計画相談支援：上記相談の中で、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成についての提案をし、必要時にはモニタリングや支援を提供する。

- 年間会議等実績

4月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時・法人研修
5月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
6月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
7月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時・所内研修
8月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
9月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
10月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時・基幹研修
11月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
12月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
1月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時・所内研修
2月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時
3月	相談支援専門員連絡会・個別支援会議随時・担当者会議随時

2024年度 基幹相談支援センター実績報告

	総数	
	人数	件数
4月	59	146
5月	57	137
6月	48	117
7月	52	140
8月	58	161
9月	62	192
10月	57	172
11月	62	156
12月	52	141
1月	44	113
2月	57	138
3月	61	154
	669	1767

	人数 ○ 内新規人数		
	児	者	高齢
	4	52(6)	3(1)
	6	46(10)	5(2)
	4	42(7)	2(1)
	4(1)	47(10)	1
	1	56(10)	1
	1(1)	56(4)	5(3)
	2(1)	47(7)	8(6)
	4	56(4)	2
	0	51(7)	1
	1(1)	42(12)	1
	4(3)	50(9)	3
	1	58(8)	2(1)
	32(7)	603(94)	34(14)

	件数		
	児	者	高齢
	8	126	12
	9	120	8
	4	111	2
	10	118	12
	1	158	2
	1	182	9
	4	154	14
	9	139	8
	0	140	1
	1	110	2
	12	123	3
	2	150	2
	61	1631	75

	障がい種別 (人数)				
	身体	知的	精神	発達	その他
	6	12	21	14	6
	7	7	25	11	7
	3	11	16	9	9
	8	12	18	7	7
	5	23	20	7	3
	6	20	18	7	11
	8	16	17	7	9
	6	22	20	7	7
	9	13	15	7	8
	3	10	18	8	5
	5	11	21	9	11
	2	14	29	9	7
	68	171	238	102	90

	地域別 (人数)				
	川之江	三島	新宮	土居	その他
	15	27	2	9	6
	22	25	1	6	3
	18	19	0	6	5
	28	16	2	1	5
	38	14	2	4	0
	35	15	2	5	5
	28	14	2	5	8
	32	13	1	4	12
	22	15	1	8	6
	12	16	2	10	4
	16	28	2	4	7
	27	18	1	7	8
	293	220	18	69	69

令和6年度事業報告書

グループホームUR I

(1) 基本方針

- ① 利用者が、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じ共同生活住居において、食事の提供・相談等の日常生活上の援助を適切に行う。
- ② 事業の実施にあたっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障がい福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
- ③ 定員 11名（本体住居10名、サテライト住居1名）
令和6年度末の状況（本体住居：9名、サテライト住居：1名）

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本体住居	8名	8名	9名	9名	9名	9名
サテライト	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	8名	8名	9名	9名	9名	9名

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本体住居	9名	9名	9名	9名	9名	9名
サテライト	0名	1名	1名	1名	1名	1名
合計	9名	10名	10名	10名	10名	10名

※区分4 6名、区分3 3名

※令和7年4月に管理者・サービス管理責任者が変更

令和7年2月より月に1回、中之庄町でこども食堂を開催している。

別運営にて以前より開催している場所を借りていることもあり、子供や家族連れで参加してくれている。

UR Iの職員と一緒に利用者さんもスタッフとして調理や配膳等参加し、食堂に食べに来て地域の方との交流を図っている。

